

区議会第2回定例会 個人質問

10日に開かれた区議会第2回定例会本会議では、日本共産党北区議員団から3人の議員が個人質問に立ちました。それぞれの質問概要をご紹介します。(のの山けん)



山崎 たい子 議員

性差別をなくし、 人権が尊重される 北区を

北区は今年度の新規事業でNPO 法人と連携した女性のLINE相談を開始、5月末までに35件の相談がありました。これを受け、6～7月にかけて開かれる支援者養成講座に、一人でも多くの参加機会を広げるよう求めました。

また、女性の権利を国際基準にする「女性差別撤廃条約選択議定書」の速やかな批准を国に求めよと要請しました。



せいの 恵子 議員

困難を抱える 子どもと若者への 支援拡充を

ひきこもりやヤングケアラーなど、生きづらさを抱える子どもや若者が増えています。

豊島区では、子ども若者課を開設して支援を強化、必要に応じ専門機関と連携しながら相談者一人ひとりに合わせた支援プログラムを実施していることを紹介し、北区でも相談窓口や居場所づくり、アウトリーチの強化など、支援を拡充するよう求めました。



さがら としこ 議員

北区初・児童相談 所等複合施設は 「区民とともに」で

2026年の開設をめざして北区初の児童相談所等複合施設の建設計画が進んでいます。5月に開かれた住民説明会をふまえ、今後の運営指針策定や基本・実施設計にあたっては、住民の意見表明の場を保障し、「区民とともに」の姿勢を貫くよう求めました。

さらに、コロナ感染が和らぐ下で、高齢者の会食事業の安全な再開を求めました。



消費税を5%に

JCPサポーターが赤羽で訴え

12日、LaLa ガーデンで、JCP（日本共産党）サポーターの青年らが街頭宣伝。シール投票では、多くの人々が「消費税を高いと感じる」に投票しました。消費税5%への緊急減税は切実な要求です。(のの山けん)